

土木学
会昭和
39年度
役員

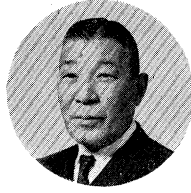
(五十音順)

会長



福田武雄
東京大学名誉教授

副会長



大石 勇
前田建設工業KK
専務取締役



山内一郎
建設省建設事務次官



好井宏海
日本国有鉄道理事
関東支社長

理事



伊藤直行
建設省道路局地方道課長



板倉忠三
北海道大学教授



内田隆滋
日本国有鉄道建設局計画課長



江口 馨
KK大林組専務取締役



岡崎忠一
神奈川県土木部長



春日屋伸昌
中央大学教授



粕谷逸男
日本鉄道建設公団計画部長



近藤三郎
KK大林組取締役



佐々木正久
建設省河川局開発課長



斎藤義治
日本道路公団高速道路京浜建設局長



篠原登美雄
運輸省港湾局建設課長



嶋 祐之
東京大学教授



鎌 靖司
松尾橋梁KK取締役



西村敏男
広島市助役



樋浦大三
東北大学教授



藤田博愛
東京都水道局建設部長



前沢 肥
開発工事KK専務取締役



松尾新一郎
京都大学教授



村上 正
九州大学教授



八木健二
大阪市土木局道路部長



安宅 勝
大阪大学教授



渡部 時也
中部電力KK取締役



渡辺新三
名古屋工業大学教授



羽田 巖
社団法人土木学会専務理事

監事



小林嘉道
京都府土木建築部長



武内 修
大成建設KK取締役

名 誉 員 推 挙 報 告 (五十音順・敬称略)

土木学会東北大会において下記の11名の方々を土木学会名誉員にあらたに推挙されましたのでご報告申し上げます。ここに土木学会名誉員は総数55名をかぞえることとなりましたことを併せてご報告申し上げます。

稲浦鹿蔵



大正13年3月 京都帝国大学工学部土木工学科卒業
大正13年4月～

内務技師、大阪府土木部河港課長、青島埠頭株式会社常務取締役、兵庫県土木部長、建設技監、日本学術会議会員、建設省建設事務次官、を経て、昭和31年7月以降参議院議員の要職におられます。土木学会においては、昭和25・26年に副会長、昭和27年第40代会長として学会運営のため尽力せられたのであります。

小川敬次郎



明治38年7月 東京帝国大学工科大学土木工学科卒業
明治38年7月～

鉄道作業局に勤務朝鮮に派遣、朝鮮龍山鉄道班設計掛主任、仙台高等工業学校教授、東北帝国大学工学専門部教授、米国・英国・仏国へ留学、北海道帝国大学教授、北海道帝国大学工学部長、北海道帝国大学名誉教授、財団法人井上育英会常務理事および特種法人大日本育英会理事として、ご活躍され現在郷里である山口県萩市において、自適しておられます。先生のご専門はコンクリートでありましてご造詣が深く、著書も多く学術上の功績は顕著でありました。

岡部三郎



大正5年6月 東京帝国大学工学部土木科卒業
大正5年6月～

内務技師、東京市橋梁課長、尼崎築港KK技師長、東京湾埋立KK顧問 専務取締役、東京帝国大学工学部講師(兼務)、日本埋立協会会長、運輸省港湾審議会委員を経て現在東京湾埋立KK社長、尼崎築港KK社長、東亜建設興業KK、東亜地所KK、京葉土地開発KK 各重役、運輸省港湾審議会委員、日本港湾協会副会長の要職におられます。土木学会においては、学会誌に大正7年2月号以降数々の有益な論説、報告などを掲載されて、学術技術昇上のために多大の貢献をせられたのであります。

坂上丈三郎



大正8年7月 東京帝国大学工学部土木工学科卒業
大正8年8月～

内務技師、満州国交通部水路司長、満州国交通部水路技監、横浜市復興局長、横浜市建設局長兼港湾局長を経て、昭和30年10月以降鉄建建設KK顧問の要職におられます。

土木学会においては、満州土木学会調査部長、副会長、会長として学会の海外発展のために尽力せられたのであります。

鯨島茂



大正6年7月 東京帝国大学土木工学科卒業
大正7年10月～

大蔵技手、内務技師、下関土木出張所長、海軍司政長官、海軍民政府交通土木局長、内務省調査官、漁港審議会委員、日本港湾コンサルタント協会理事長を経て、KK日本港湾コンサルタント取締役社長、日本港湾協会副会長、港湾審議会委員、日本港湾コンサルタント協会理事、航空審議会専門委員の要職におられます。土木学会においては、昭和20・21年に副会長として会務運営のため尽力せられたのであります。

大正5年7月 東京帝国大学工学部土木工学科卒業

大正5年7月～

内務技師、仙台土木出張所勤務、北上川改修事務所従務、新潟土木出張所神通川改修事務所主任、内務省土木局第一技術課長、国土局港湾課長、内務省大阪土木出張所長、戦時建設団理事中国地方団長、KK鹿島組常務取締役、同社専務取締役

を経て、現在

鹿島建設KK相談役

の要職におられます。

土木学会においては、昭和13・14年理事経理部長、同19年関西支部長として学会運営のため尽力せられたのであります。



高橋嘉一郎
たかはしかいちろう

大正6年7月 京都帝国大学工科大学土木工学科卒業

大正6年8月～

大阪市技師、米國ハーバード大学、英国リバプール大学に留学、大阪市技師、都市計画部技術課調査係主任、内務技師、大臣官房都市計画課、京都帝国大学助教授、京都帝国大学教授、金沢大学教授兼務

を経て、京都大学名誉教授となり

財団法人日本地域開発センター顧問、阪神高速道路公団管理委員会委員、京都、大阪、兵庫、奈良都市計画地方審議会各委員、京都市建築審査会委員、京都市風致審議会委員、京都府総合開発審議会委員、奈良国際文化観光都市建設審議会委員、神戸市、大阪市、吹田市、宇治市等の顧問或は嘱託、KK日本水道コンサルタント、日建設計工務KK、間組

その他諸社顧問などの要職におられます。

土木学会においては、昭和7・8年関西支部商議員、昭和27年関西支部長として学会運営のために尽力せられたのであります。



武居高四郎
たけいたかしろう

大正8年7月 東京帝国大学工学部土木工学科卒業

大正8年7月～

鉄道技師、在外研究員 米國および独國、大臣官房研究所第4科長、鉄道技術研究所第2部長、東京帝国大学教授、鉄道技術研究所長、東京大学工学部教授兼東京大学生産技術研究所、技術士試験委員

を経て、現在

早稲田大学教授、日本国有鉄道監査委員会技術顧問、文化財審議会専門委員

の要職におられます。

土木学会においては、昭和11・12年理事調査部長、同35年第48代会長として、学会運営のためご尽力せられたのであります。



沼田政矩
ぬまたまさひろ

大正8年7月 東京帝国大学工学部土木工学科卒業

大正8年7月～

鉄道技師、在外研究員 米國および欧州、熱海線建設事務所長、岐阜工事事務所長、下関工事事務所長、内務技師(兼務)、鉄道会議専門委員、技術士試験委員

を経て、

津軽海峡連絡鉄道調査委員会専門委員、静岡県富士川用水工事対策委員会委員、東京都地下高速度車建設技術委員会委員、三菱鉱業KK嘱託、KK熊谷組顧問、極東調査設計KK取締役、日本綜合防水KK取締役、パシフィックコンサルタンツKK嘱託

として活躍中であります。

土木学会においては、昭和18年西部支部長として、学会運営のためにご尽力せられたのであります。



星野茂樹
ほしのしげあき

大正9年 東京帝国大学工学部土木工学科卒業

大正9年～

鉄道技師、静岡保線事務所長、大鉄保線課技術指長、門鉄改良課工事指長、新鉄工務部長、工務局改良計画各課長、工務局長台湾総督府顧問、運通部施設局長、欧米へ留学、内閣技監戦災復興院勤務、特別調査庁監事、復興建設技術協会副会長、交通協力会長

昭和28年4月以降、

参議院議員、京阪神急行電鉄顧問、日本科学技術連盟理事

を経て、昭和34年3月以降

宮城県知事に当選、現在も宮城県知事

の要職におられる。土木学会においては、昭和25年第38代会長として学会運営のためご尽力せられたのであります。



三浦義男
みやまよしお

大正8年7月 東京帝国大学工学部土木工学科卒業

大正8年7月～

内務技師、常願寺川改修事務所長兼手取川改修事務所長、神通川筋既成河川監督技師官、立山砂防事務所長兼務、黒部川改修事務所長、新不知洞道改良事務所長兼務、神通川既成河川監督、金沢工事事務所長兼務、長岡工事事務所長、長野同道改良事務所長、魚野川砂防工場長兼務、名古屋土木出張所工務部長兼金沢工事事務所長、名敦同道工事事務所長、建設院中部地方建設局調査員、秋田県土木部嘱託、群馬県土木部嘱託、東北大学教授

などを歴任され、昭和32年3月退職し今日に至る。

土木学会においては、昭和31年土木学会東北支部長として、学会運営のためご尽力せられたのであります。



鷺尾塾龍
わしおちつりゅう